

## ごあいさつ



組合員をはじめ地域の皆さまには、平素より格別なるご愛顧、お引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

本年も当JAに対するご理解を一層深めていただくため、主な事業の内容や組織概況及び経営の内容などについて、分かりやすくまとめたディスクロージャー誌を作成いたしました。皆さまが当JAの事業を安心してご利用いただくための一助として、ぜひご一読いただきますようお願い申し上げます。

さて、令和4年度は、静岡県東部地区8JAが令和4年4月1日に合併し、「富士伊豆農業協同組合」が誕生した初年度であります。私たちを取り巻く環境におきましては、社会経済活動との両立を目指す「Withコロナ」に向けた行動様式の変化など明るい兆しも見えましたが、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、円安の影響、特に原料の輸入依存度が高い肥料・燃料などの生産資材の高騰が続き、地域農業や経済へ大きな影響を及ぼしました。

そのような中、地域の農業振興や組合員の皆さまの生活向上、そして豊かな地域社会づくりに貢献するため、経営理念「富士伊豆からつなぐ～大地と地域と農業のみらい～」のもと様々な施策に取り組みました。管内農畜産物の中から主要6品目と地域戦略21品目を選定し、生産組織の意見・要望を踏まえ品目別振興計画を策定し、品質や収量向上の取り組みをスタートしました。また、生産組織の基盤強化のため「あぐりチャレンジ事業」を展開し、27の生産組織において総額24,745千円を支援しました。今後は営農アドバイザーのサポートにより支援効果を高めていきます。

さらに、農畜産物の販売強化に向けた施策として「販売物流プラットフォーム」により、管内の集出荷場やファーズマーケット・直売所を結ぶ流通網を構築し、生産者の皆さまの販売機会の創出や店舗の品揃えの充実による販売促進に努めました。

生産資材価格の高騰化への対応としては、管内19市町に緊急要請書を提出し、17市町より補助制度設置等の回答を得ました。併せて特別価格肥料の提案や土壌診断にかかる費用の一部助成など「JAふじ伊豆生産資材高騰化緊急対策」を実施しました。

また、これまで活動の自粛を余儀なくされてきました女性部・青壮年部におきましても、徐々に再開の兆しが見られ、地区本部同士の交流会等が図られました。

令和5年度からは、「JAふじ伊豆2か年計画 ～組合員とともに創造“農業と協同の未来”～」にもとづく事業をスタートしております。農業・JAが直面する課題の対応に向けた重点取組を掲げ、「農家組合員の農業所得向上」及び「地域社会への適切なサービス提供」を基軸と位置付け、取り組むとともに、改革を支える持続可能な経営基盤の確立・強化に努めてまいります。

これからもJAに求められる基本的使命や社会的責任を念頭に、地域の皆さまに愛され、信頼されるJAを目指して各事業誠実に邁進してまいりますので、今後ともなお一層のご理解とご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

令和5年7月

代表理事組合長

梶 毅